

令和7年11月12日

寒河江市議会議長 柏 倉 信 一 様

厚生文教常任委員会
委員長 野 口 康一郎

管 内 調 査 報 告 書

厚生文教常任委員会管内調査について、次のとおり報告いたします。

記

- 1 日 時 令和7年11月7日（金） 午後2時
- 2 調査内容 旧幸生小学校体育館の整備状況について（スケートボード練習施設）
- 3 調査人員 8名（議員7名、随員1名）
- 4 感想所見 別紙のとおり

様式第 2 号

視察研修先	旧幸生小学校体育館	氏名	野口 康一郎
視察研修項目	旧幸生小学校体育館の整備状況について（スケートボード練習施設）		
【視察内容】 旧幸生小学校体育館は、令和 5 年 2 月より「スケートボード練習施設」として一般開放され、土・日・祝日に利用されている。最上川ふるさと総合公園内にある屋外スケートボード施設は雨や雪の日は使用することができず、雨の日でも練習できる場所が求められていた時に、廃校になった旧幸生小学校を使うことになった。これまでは初心者用の練習施設だったが、本格的な屋内型スケートボードとして整備するために今年度実施設計を行う。 【感想・所見】 元々別な場所にあった練習施設を廃校になった体育館へ移転したのが始まり。屋外施設を使う前の初心者が練習をするのに使い始めたとのことで、初年度利用者は 2,145 名いたとのことだが、年々利用者が減っているとのこと。初心者用の施設である旧幸生小学校での練習では物足りない方々が出てきてしまい、利用者が減っているのではないかとのこと。利用者は市内が 1 割～2 割で市外が 8 割～9 割とのことだが、幸生までの移動を考えるとなかなか大変なのではないかと感じた。周りに宿泊できる場所や商店もないために、一度訪れると次に訪れるかは疑問にも感じる。 元々は、旧幸生小学校の利活用を計画する中で出てきた屋内型スケートボードパークの構想だと思うのだが、使い方については地元幸生の方々の意見が反映されるべきだと感じた。幸生の方々がスケートボード練習施設を望んでいるのであれば新たに整備することが良いことだとは思いますが、地元の方々が望んでいないのであれば計画は変更すべきなのではないかと感じた。これから学校の統廃合で廃校になる学校が新たに出てくるのでスケートボードパークは別な場所に作っても良いのではないだろうか。また、県外からの利用者が多い状況で幸生に整備するメリットが感じられず、作った後の維持管理のコストもしっかりと考えて答えは出すべきだと思う。 この度の管内視察はとても良いと感じた。予算審議をする中で、実際に目で見たところとただ資料として見ただけでは分からないことがあると改めて感じた。			